



市政NEWS

月一会 つきいちかい 市政は皆の笑顔のために。

【編集発行】伏見ゆきえ 政務活動事務所

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町447-1 プラージュ戸塚502

TEL 045-443-5757 FAX 045-443-5671

E-mail : office@fushimiyukie.com

【活動報告】女性視点で災害対策を強化 **その2**

外せない、地域防災に女性参加

8月に行った市政報告会で、男女共同参画センター横浜の白藤香織館長に「男女共同参画の視点による地域防災への取り組み」についてお話をして頂きました。災害が起きた際の影響は性別や年齢、病気や障害の有無、経済状況によって異なります。

阪神淡路大震災では、女性が男性より約1千人多く亡くなっています。この背景には経済的理由が挙げられますが、世界での研究においても、女性のほうが自然災害の影響を受けやすいことが明らかになっています。



避難所や物資の問題を 共に解決

災害時での女性が抱える困難には「授乳や着替えをする場所がない」「女性ばかりが毎日大量の炊き出しを担当し、疲労困憊した」「年齢や性別問わず性被害が起きていた」といった声が挙げられ、避難所で受け取る物資においても女性が必要と感じる物資と男性が必要と感じる物資の差が大きくありました。

元日に起きた能登半島地震では、介護や育児、看護などのサービスの復旧が遅れたことから、それらのケアをする役割を女性が一気に負うことになったそうです。

避難所で抱える女性の課題を解決するためには平時から、自治会を含め地域での取り組みに女性が積極的に加わっていく必要があると考えます。子育てや介護、日々の家事の負担を多くの女性がまだまだ担っている中、少しでも地域で話し合いの場を持ち、様々な立場の人が災害時に備えた話し合いをすることが必要だと考えます。



【活動報告】カーボンオフセットを購入

戸塚区と友好交流協定のある北海道下川町から8月、2020年に続いて2回目の「カーボン・オフセット・クレジット」を戸塚区市会議員団9人で購入しました。カーボンオフセットとは、二酸化炭素など温室効果ガスの排出量を削減するための取り組みの一つで、温室効果ガスの削減に努めても削減しきれない分の埋め合わせ(オフセット)をクレジットの購入などですることです。

下川町は町の90%を森林が占めています。この豊富な森林を町政運営の経営資源と捉えて、オフセット・クレジットを用いて、国の森林管理プロジェクト第1号登録を受けるなど「循環型森林経営」を行なっています。一方、横浜市もごみの排出量30%削減を目標にした「G30」や臨海部を再生可能エネルギー技術のバイオニアエリアとする「横浜グリーンバレー構想」を推進するなど、大都市ゼロカーボン生活を目指しています。

下川町と戸塚区は、それぞれの特産品である麦と浜なしを使ったクラフトビールを製造しています。今後も互いの強みを活かした商品を知る活動を展開していけたらと思います。



事務所運営で排出される二酸化炭素の一部をオフセットするための2トン分のオフセット量を購入しました。



ココに注目!!

戸塚区と北海道下川町の 友好都市協定とSDGs連携

戸塚区と北海道下川町は、平成23年に下川町と戸塚区川上地区、戸塚区役所の3者で友好都市協定を結んでいます。毎年、小学生を相互に受け入れるなどの交流も育んでもいます。ちなみに友好交流協定の取組の一環で平成25年には下川町に互いの環境意識を高めることを目的に「とつかの森」が誕生しました。町の約90パーセントが森林という地域を生かし、森林バイオマスを中心とした再生可能エネルギー利用をする事業などで、平成30年度に国からSDGs未来都市に選定されています。機会があれば、ぜひ一度、足を運び地域の人と交流してみてください。素晴らしい経験になると思います。



この夏に戸塚議員団で、下川町を訪れました。

とつかの野菜で Cookingu



下川町のトマトソース

1

アテネファームのトマトソースを使って料理をしていきます。



鶏もも肉と玉ねぎ、ニンニクをオリーブオイルでいためていきます。味付けは塩胡椒で大丈夫です。

2

3

鶏肉と玉ねぎに火が入ったら、トマトソースを加えて煮込むだけ。手早く簡単に作れます。



誰にでもやさしい街を。女性議員として女性代表として三期目も働きます。



子育て

- 妊婦初診無料化、妊娠期や出産期の生活応援助成
- 育児休業明けとなる1歳児や2歳児の受入れ枠の拡大
- 一時預かり事業の拡充
- きめ細かい子供・子育て施策を横浜市独自で進め、国に対しても対応を求めています



安心・安全

- 避難ナビアプリなど活用し横浜独自の避難所受け入れや、必要物資・救急キットの市内各所への配布・活用システムを研究・検討します
- 消防士・消防団の訓練環境を整備します
- 大型公園の完全禁煙化を推進します
- 夜間でも誰もが安全・安全な道路環境を整備します



教育

- 増え続ける児童虐待、いじめに対応するため児童相談所のAI・ICT導入による体制強化
- 小・中学生に配布したタブレットへの相談アプリ導入を進めます
- 子どもを守り健全に育成するための議員提案条例の制定を目指します
- 学校のトイレ洋式化



環境

- 保土ヶ谷ゴミ焼却処理工場再整備で最新の脱温暖化設備導入や余熱を活用した畑づくりなど環境学習機能を充実させます
- 省エネ再エネ設備の導入などによりスマート自治・町内会館化を目指し、地域社会からの啓発に活用します
- 「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例」のもと横浜からカーボンニュートラル達成をけん引します



医療・福祉

- 希少がん研究、先進医療の積極導入などを推進します
- 米軍根岸跡地に市大医学部・市大センター病院の速やかな移転を進めます
- 要介護3以上の個別避難計画の策定を着実に進めます
- スポーツを通じて身体的障害・知的障害・精神障害など障害への理解を深め共生社会を目指します

チームゆきえ募集中!!

市政報告の駅頭配布、ポスティング、事務作業などをお手伝いしてくださる方を募集しています。未経験の方でもOK! まずはお気軽にお電話下さい。

お問い合わせ ☎045-443-5757

日々の活動は、ホームページ
または各種SNSで更新中!

公式
ホームページ

